

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化、看取りについての指針は明文化し契約時や家族交流会の時などに家族に説明し同意を得ているが、ケアを提供する介護従事者は、重度化や看取りのケアが必要になった際、自分たちがどのようなケアを提供しなければいけないのか、職員同士で話し合う機会も現状なく理解が不十分である。	重度化、看取りのケアが必要になった際も、利用者と家族が安心してサンめいとで生活出来るよう、指針の内容や、それぞれの職員が自分の役割を理解し、尊厳に十分配慮した終末期のケアを行えるようにしていく。	①「利用者の重度化した場合における対応に係る指針」の読み合わせを行い、職員の理解を深める。 ②指針内の「利用者の重度化及び看取り看護に関する職員教育」に基づき、管理者、リーダーが中心となり勉強会を行う。 ③運営推進会議や面会時に、ご家族からの意向も定期的に伺えるよう努める。	6ヶ月
2	34	急変時マニュアルの作成や定期的に行われる勉強会等に参加し、急変や事故発生時対応に備えているが、昼夜問わず急変や事故が発生した際の対応方法について不安を感じている職員がいる	全職員が緊急時の対応について知識、技術を身に付ける事ができ、状況に応じた適切な対応を行う事が出来る。	ミーティングで定期的に緊急時マニュアルの確認、見直しを行い、具体的な緊急時を想定した対応方法について職員間で共有し、話し合う。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。